

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	イーライフ				公表日	令和7年 1月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		高学年が多いため、スペースが狭くならないように13人程の定員で対応している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8	事業所としては受けていないが、内部監査を行い業務改善に繋げております。また、会社全体としては年に一度外部評価を受けております。	自事業所では外部評価を受けておりませんが、会社としては実施しております。今後外部評価を実施した時には業務改善に繋げられるよう努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	年に一度の保護者会にてプログラムの説明を行っております。	年に一度の保護者会にて説明を実施しております。保護者会の内容についても職員全員が周知できるよう努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援会議を通して、課題に対して共通認識しながらどのように支援をすれば良いのかを共有している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個人の計画書を回覧しながら各職員にて確認し、支援に努めている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		アセスメントシートを用いたり、話によって共有は出来ているもののSM社会生活のツールはあるものの利用できていない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		長期休暇にてどの活動を対応するのかを共有しながら検討し、作業面に対しても共有してどの活動にするのか決定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		経過観察が必要な児童に対しては、事前などの対応が必要であるのかを共有し、担当のスタッフを決めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		その日の机上課題の様子なども共有し、数の調整や声掛け等といった支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	そのような機会がありません あれば管理者が代表として参加すると思います	サービス担当者会議には児童発達管理責任者をはじめとし児童様の状況をよく理解したものが参画しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		計画相談の支援者への連絡や来所された時に担当児童の事業所での様子を伝えている。送迎の引受時に学校での本人の様子であったり、事業所での様子を伝えて課題について共有している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	8	利用者様の年齢が高いことから機会は無かったが、相談所とは連携を取り情報共有や見学を行っている	該当する利用者様がみえた際には、関係機関と連携を取りながら情報共有と相互理解に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	計画相談の方を通して情報の提供を行っております。	計画相談の方を通して情報の提供を行っております。引き続き、関係機関と連携を取りながら情報提供や状況に応じた対応に努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	地域ではないものの、専属の心理士と一緒に事例検討をする機会を設け、適宜対応方法について助言を頂いております。	今後も専属の心理士による事例検討（研修）の機会を設け、助言をいただき支援に繋げてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	年に一度会社全体でお祭りを開催することで地域のお子様と交流する機会となっています。自事業所では就労マルシェに参加することで交流する機会となりました。	現在は会社全体でお祭りの開催や就労マルシェに参加することで地域のお子様と交流する機会となりました。今後は新たな活動も視野に入れながら検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	事業所としての参加はありませんが、会社としては参加している。	事業所としての参加はありませんが、会社としては参加しております。今後、機会があった際には事業所としても参加していきたいと思っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		提供する内容（B型事業所さんとの合同説明会等）があった際には、チラシやSNS等に会社全体で情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		送迎時などで悩まれている保護者様が居る時には話を傾聴し、必要に応じて再度電話での対応、面談をする機会を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		自事業所では保護者会や就労マルシェ参加時に保護者様だけでなく、兄弟様にも来ていただき交流の機会となっております。会社としては祭りを開催し機会を設けております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		スタッフ間にて苦情について共有し、今後の対応について迅速に決めて、対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		就労マルシェを開催し、学校の先生や地域の方にも来ていただきました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	一部周知できていない	職員間で共通認識がとれるよう研修の場を設け、周知徹底に努めてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		随時、保護者様に薬について伝えて頂いたり、薬の説明書の写しを頂いている。また悪化時の様子についてはその都度連絡を頂き、緊急時の対応についても保護者様より聞き、緊急時に備えている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	4	指示書はなく、保護者様の申告に基づいて対応に努めております。	現在は指示書がない状態ですので、今後はアレルギー対象の保護者様には無理のない範囲でご協力いただきたいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	5	現在は対象となる児童様が見えない為、記載はしていません。	現在は対象となる児童様が見えない為、記載はしていません。今後対象となる児童様が利用される際には保護者様にご了承を得た上で記載していきます。	